※令和４年度以降入学生用

学校番号	3020

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	現代の国語　（第一学習社）						
副教材等	最新国語便覧（浜島出版） 常用漢字ダブルクリア（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・皆さんが活躍するこれからの日本、世界は多様な価値観の存在、それに伴う人との対話の力が必須となる時代です。そのために、1年生では将来に必要となる基礎的な国語の力を身につけることを心がけましょう。
・様々な文章を読み、コミュニケーションのための話す・聞く力や意思を伝えるための書く力をしっかりと身につけて、より深い思考・判断・表現ができるようになりましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。
・言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め知識を高める。
・国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本語の特徴やその使い方を身に付けている。 必要な情報を取捨選択し、正しく利用することができる。 我が国の言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。	目的や場に応じて効果的に話して的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	・本文に取り上げられた問題について自分に照らして考えを深める。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する方法を学ぶ。 ［教材］ 「生きもの」として生きる	ａ：主張や論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解している。 ｂ【読・書】: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。 ｃ：「生きもの」としての自分について考えることができている	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析
	・論理的な文章の構成を理解し、その叙述方法を把握する。 ・西洋と東洋の文化を比較し、その違いについて理解する。 ［教材］ 水の東西	ａ：西洋と東洋の文化的特徴について理解している。 ｂ【読・書】: 文章の形態や文体による特色について理解している。 ｃ：「文化」について考えることができている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析
	・例示と意見の関係を整理して論理構成を把握する。 ・言語の持つ性質について理解する。 ［教材］ ものとことば	ａ：言語の持つ虚構性について理解している。 ｂ【読・書】: 文章の形態や文体による特色について理解している。 ｃ：ことばの構造や仕組みに注意し、自身の言語活動に生かそうと努めている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析
	・話し言葉と書き言葉の特徴および、目的や場面に応じた言葉遣いを理解する。 ・相手により伝わりやすい表現方法を工夫する。 ・敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 ［教材］ 話し方の工夫･待遇表現	ａ：　話し言葉と書き言葉の特徴を理解している。 ｂ【話・聞】: 比喩や例示を用いた表現を理解している。 ｃ：相手や場に応じた表現が選択できている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析
	・以前に学習した評論文と比較する。 ・日本文化について理解する。 ［教材］ 「間」の感覚	ａ：　主張や論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ｂ【読・書】: 文章の特色について理解している。 ｃ：国による文化の違いに興味を持っている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析

※令和４年度以降入学生用

２学期	・目的や意図に応じて適切な題材を決め、伝える内容を明確にする。 ・自分の考えが適切に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ［教材］ 書き方の基礎レッスン	ａ： 表記・表現の基本ルールを理解している。 ｂ【書】:接続表現の種類や用法を理解している。 ｃ：比喩などの表現技法を使って文章を書くことができる。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析
	・自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 ・文章を読み、自分の意見や考えを論述する方法を学ぶ。 ［教材］ フェアな競争	a:主張や論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解している。 b【読・書】:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。 c:「社会的共通資本」の重要性について考えることができている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析
	・文章の構成や論理の展開を捉え、要旨を把握する。 ・事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する。 ［教材］ 「私作り」とプライバシー	a:主張や論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解している。 b【読・書】:情報を積み上げて意見を形成する方法を理解している。 c:プライバシーの本質について考えることができている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析
	・文書や図表に含まれている情報を相互に関係づけながら解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、表現のしかたを工夫する。 ［教材］ 日本の労働問題に関わる資料を読み比べる	a:資料を読み比べて必要な情報を読み取ることができている。 b【読・書】:複数の情報を関連付けて理解したことをまとめている。 c:必要な資料を収集し、 活用できている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析
	・相手の理解を得られるように表現を工夫する。 ・文章を読んで内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価する方法を学ぶ。 教材］ 身近な製品の取扱説明書を作成する	a:情報を的確に説明する方法を理解している。 b【書】:情報を相手にわかりやすく説明する方法を理解している。 c:わかりやすい説明を実践できるようになっている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析

※令和４年度以降入学生用

3学期	・文章や図表に含まれている情報を関係づけながら内容を解釈する方法を学ぶ。 ・読み手からの助言をふまえて目的に応じて書き直す手順をまなぶ。 ［教材］ 学校新聞の記事内容を検討する	a:資料と会話文を関連付けながら、課題に即して必要な情報を読み取ることができる。 b【読・書】:異なる形式で書かれた文章や図表を読み、理解したことをまとめることができる。 c:読み取った情報を活用することができている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析
	・主張と理由の関係性や妥当性について理解する。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解し、活用する。 ［教材］ 論理的な表現	ａ：主張と論拠など、情報と情報の関係を理解している。 ｂ【書】： 話の構成や展開を工夫することができている。 ｃ：説得力を意識した表現ができる。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析
	・筆者の意図を理解し、主張を把握する。 ・評論の構成をと論理の展開の仕方について理解する。 ・「経済的価値」と人間的な生き方について考える。 ［教材］ ロビンソン的人間と自然	ａ：主張や論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解している。 ｂ【読・書】：文章の形態や文体による特色について理解している。 ｃ:「人間はいかに生きるべきか」という問題に対して考えを深めることができている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析
	・自分の意見を大勢の聞き手に分かりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 ・他人のスピーチを聞き取り、評価する。 ［教材］ スピーチで自分を伝える	a:スピーチの手順や方法を理解している。 b【話・聞】:大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチを実践できている。 c:他者のスピーチを客観的に評価できている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析
	・意見文の書き方を理解し、実践する。 ・他者の意見文を評価する。 ［教材］社会に対する意見文を書く	a:文章の効果的な組み立て方や 接続の仕方を理解している。 b【書・聞】:目的や意図に応じて適切な題材を決め、伝える内容を明確にできている。 c:他者の意見文に対して客観的に評価できている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間